

CDK7 阻害薬に関するライセンス契約締結について

宇部興産株式会社

宇部興産株式会社（本社：山口県宇部市、社長：泉原雅人、以下「宇部興産」）および Kirilys Therapeutics, Inc.（本社：米国カリフォルニア州サンフランシスコ代表取締役会長：BT スリングスビー、以下「Kirilys 社」）は、この度、宇部興産が創出した CDK7 阻害薬 KRLS-017 について、全世界における独占的ライセンスをベンチャーキャピタルであるキャタリスパシフィックが設立した Kirilys 社に供与することに合意しましたので、お知らせいたします。

KRLS-017 は、可逆的 Cyclin Dependent Kinase 7 (CDK7) 選択的阻害薬（低分子化合物）です。CDK7 は、腫瘍における転写依存と細胞周期調節異常の両方の重要な調節因子として関与しているため、広範囲の固形腫瘍および血液悪性腫瘍に対する治療的介入の魅力的な標的となります。KRLS-017 は、前臨床試験でクラス最高の効力、選択性、および抗腫瘍効果に加えて、経口薬として非常に好ましい特性を示しているため、抗腫瘍薬としてアンメットメディカルニーズの高い疾患の治療に大きく寄与できることが期待されています。

本契約により、Kirilys 社は KRLS-017 に関して、今後の開発、製造及び販売に関する権利を獲得します。

宇部興産の執行役員医薬事業部長である船山陽一は、「当社は、アンメットメディカルニーズの高い疾患の治療について、より多くの治療選択肢が提供されることを目指して日々創薬に取り組んでいます。抗腫瘍薬の領域はアンメットメディカルニーズの高い領域の一つであり、KRLS-017 がこの領域における新たな治療選択肢の一つとして寄与できることを大いに期待しています。また今回、抗腫瘍薬開発に対して高い専門性と豊富な経験を有すメンバーから設立された Kirilys 社が KRLS-017 の開発に関与することにより、その可能性が一層高まると信じています。」と話しています。

Kirilys 社の代表取締役会長でありキャタリスパシフィックのマネージング・パートナーである BT スリングスビーは、「私たちは革新的な腫瘍学のサイエンスと日本の優れた創薬を融合した治療薬の開発を推進するために Kirilys 社を設立しました。世界中のがん患者さんにとって新たな治療の選択肢を提供する可能性を秘める KRLS-017 を Kirilys 社の経験豊富なチームと共に開発をすることを楽しみにしています。」と話しています。

宇部興産について

宇部興産は化学を中心に建設資材や機械の各分野でも事業を展開しています。医薬事業は、技術革新にあふれた「クスリづくり」を地域から発信し、すべての人々の健康に貢献することを目指しています。これからも医療に貢献するため、自社／共同研究開発による「創薬」と「原薬・中間体製造」を両輪として新しい医薬品の種となる化合物を創出してまいります。<http://www.ube.co.jp>

Kirilys 社について

Kirilys 社は、がんゲノム医療に特化した企業として新たな治療薬の開発を推進しております。がんの遺伝子情報に基づく個別化治療により、現在治療の選択肢が限られるがん患者さんのアンメットニーズに応えるべく、宇部興産からライセンスを受けた新規 CDK7 阻害剤の KRLS-017 をはじめとして、今後複数の創薬パイプラインの開発を推進します。<http://www.kirilys.com>

キャタリスパシフィックについて

キャタリスパシフィックは、ライフサイエンス分野のイノベーションに特化して投資を行う独立系ベンチャーキャピタルです。当社のミッションは、バイオベンチャー企業の創出と投資を通じて、世界中の患者さんに、ヘルスケアにおけるソリューションをお届けすることです。日本および世界中のアカデミア、バイオベンチャー企業、ベンチャーキャピタル、製薬企業のパートナーと緊密に連携することに精通したグローバルチームが、東京、神奈川（湘南ヘルスイノベーションパーク）、サンフランシスコを拠点に事業運営しております。<https://catalyspacific.com>

本件に関するお問い合わせ

〒105-8449 東京都港区芝浦一丁目2番1号 シーバンスN館
宇部興産株式会社 総務部 総務・広報グループ
TEL : 03-5419-6110